

## フラット化グループ化の見直しについて

### 1 導入目的（平成16年度導入）

柔軟性・機動性の高い業務執行体制の構築  
 総戦力化による事務対応能力の充実強化  
 意思決定の迅速化

### 2 評価・問題点

#### （1）評価

柔軟・機動的な業務への対応  
 総戦力化による事務対応能力の充実強化  
 意思決定の迅速化

#### （2）問題点

現場の渉外業務  
 業務のチェック体制  
 若手職員の指導・育成  
 中堅職員の活性化

### 3 FG化の改善方向（平成21年度～ サブリーダー（副課長）の設置、権限付与）

#### （1）サブリーダー・副課長配置予定数

区分	配置G数	全グループ数に対する規模
本庁	60程度	全G数（197）の約30%
地方機関	135程度	全G数（368）の約35%
合計	195程度	全G数（565）の約35%

#### （2）サブリーダー・副課長配置の概要

本庁

部局	サブリーダーを配置するグループ
各課共通	規模の大きいG、業務が多岐にわたるG

地方機関

部局	副課長を配置する主なグループ
総務部	支庁・県民センター：総務G、税務関係のG
農林水産部	農林振興センター：林業関係のG、家畜衛生G
土木部	県土整備事務所：用地G、一定規模以上の工務・維持管理関係のG
その他	規模の大きいG、業務が多岐にわたるG

権限

各グループの特定の事務について、軽易・定例的な業務の権限を付与する。

### 4 組織、職制の対比表

（別紙のとおり）

## フラット化グループ化導入・見直し案の組織、職制の対比表

